

令和4年度 学校安全総合支援事業全国成果発表会

自ら学ぶ力を身に付け，生き抜く力を育む
～「気づき・感じ・伝え合う」ことを
大切にした安全教育の日常化～

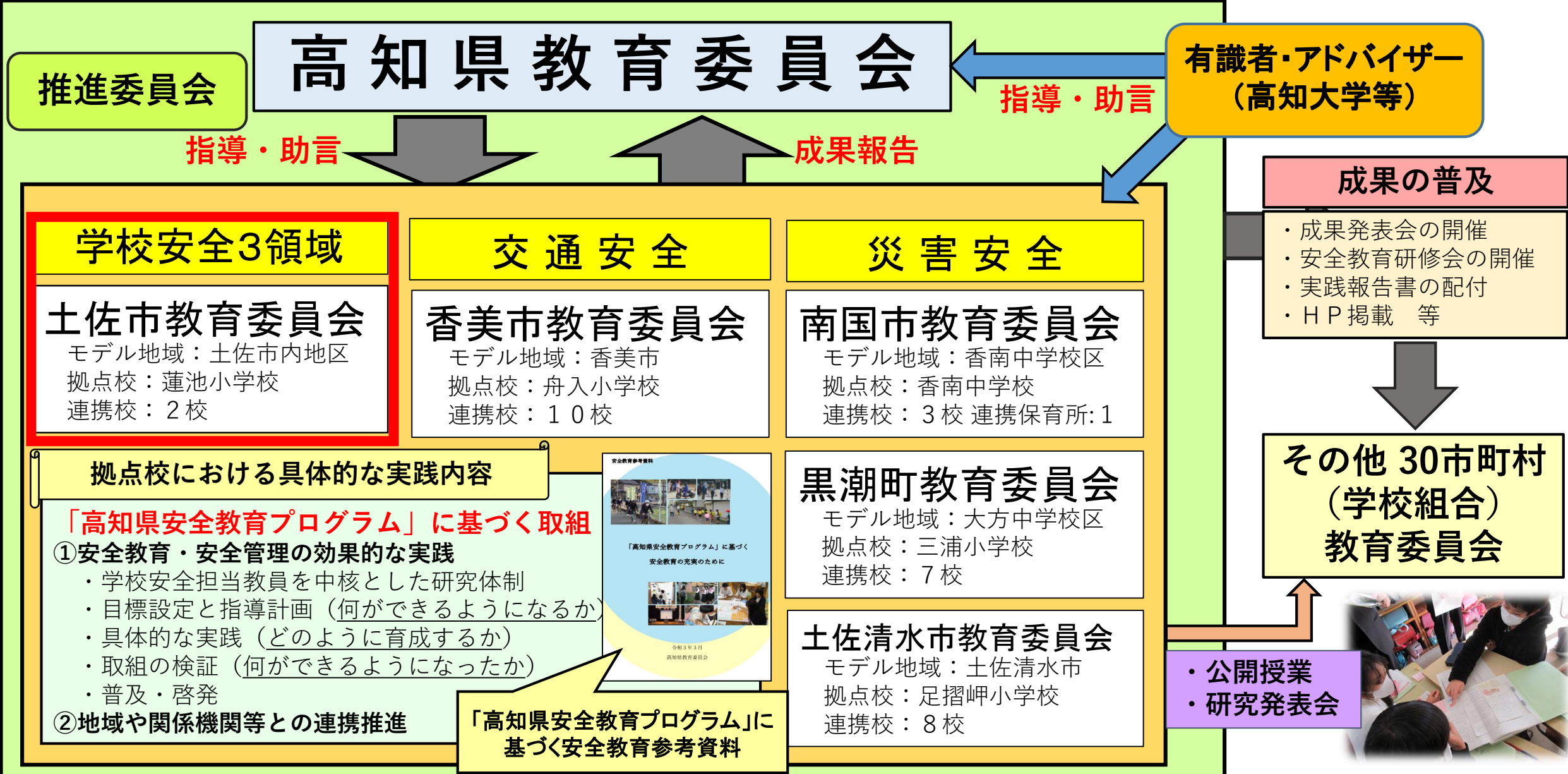


R5.2.9(木) オンライン開催
高知県モデル地域：土佐市
拠点校：土佐市立蓮池小学校

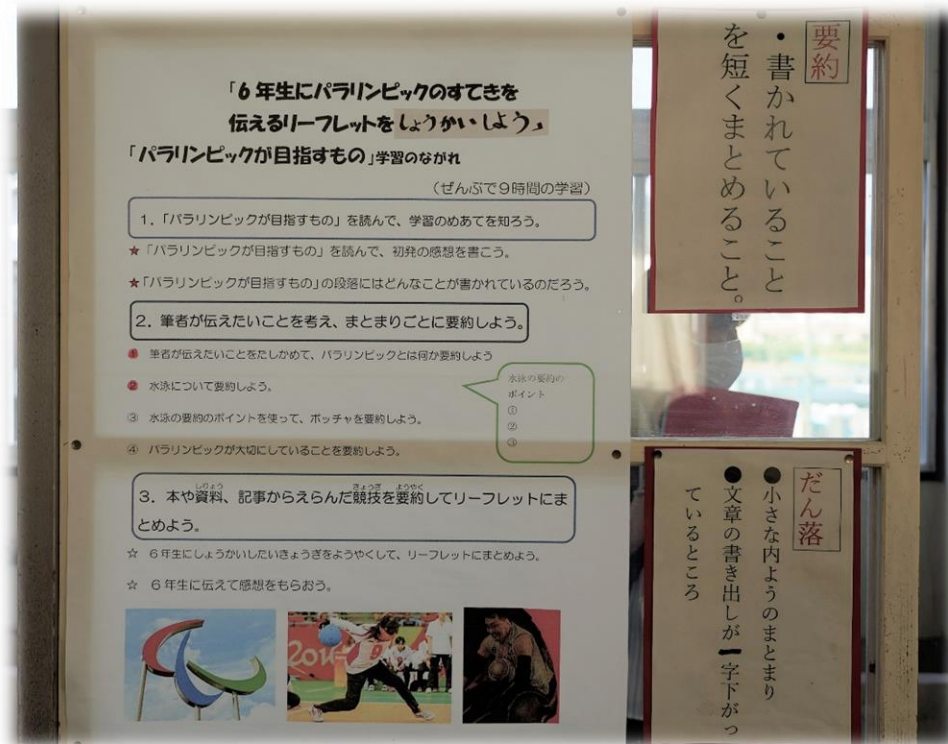


高知県学校安全総合支援事業

目的 市町村教育委員会がモデル地域を指定し、拠点校における組織的な学校安全の取組を、学校安全担当教員を通じて、モデル地域内の学校と共有しながら、モデル地域全体の学校安全推進体制を構築する。



学ぶ意欲と豊かな心を身に付けた、 たくましい子どもたちの育成



学ぶ意欲と豊かな心を身に付けた、
たくましい子どもたちの育成



学ぶ意欲と豊かな心を身に付けた、 たくましい子どもたちの育成



学校教育目標

学ぶ意欲と豊かな心を身に付けた、 たくましい子どもたちの育成



研究主題

自ら学ぶ力を身に付け，生き抜く力を育む

～ 「気づき・感じ・伝え合う」ことを
大切にした**安全教育の日常化**～

安全教育の日常化

学習指導要領

H29.3月

第3次学校安全の
推進に関する計画

R4.3.25

資質・能力

実践的・実効的

安全教育の日常化

第3次学校安全の推進に関する計画

課題

様々な計画やマニュアルが整備されつつも、必ずしも実効的な取組に結びついていないこと

学校安全計画の見直し

実効的な取組に結びつく
様々な計画やマニュアルを
整備（教科等横断的）

学校安全計画の見直し 各学年版を作成



【1年生】

命を守る にこここ隊

【2年生】

命を守る

わくわく探検隊



【3年生】

**「命を守り隊」身の回りの危険
から自分の命をしっかりと守ろう**

【4年生】

**みんなを守ろう
Vision Zero!**



【5年生】

南海トラフ地震や気象災害について正しく知ろう,備えよう!

【6年生】

南海トラフ地震に備えよう!

自分のできることについて考えよう!



【1年生】

命を守る にこここ隊



Life safety



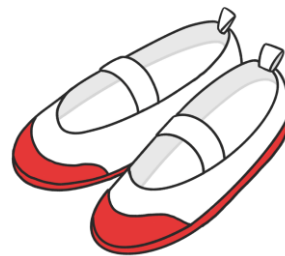
生活安全

【1年生】

あんぜんに生活しよう

①学校生活のきまり

②通学路について



③学校・校外の様子

④交通ルール

Life safety



生活安全

【1年生】の視点①

危険に気付き,安全な行動について考える

つかむ

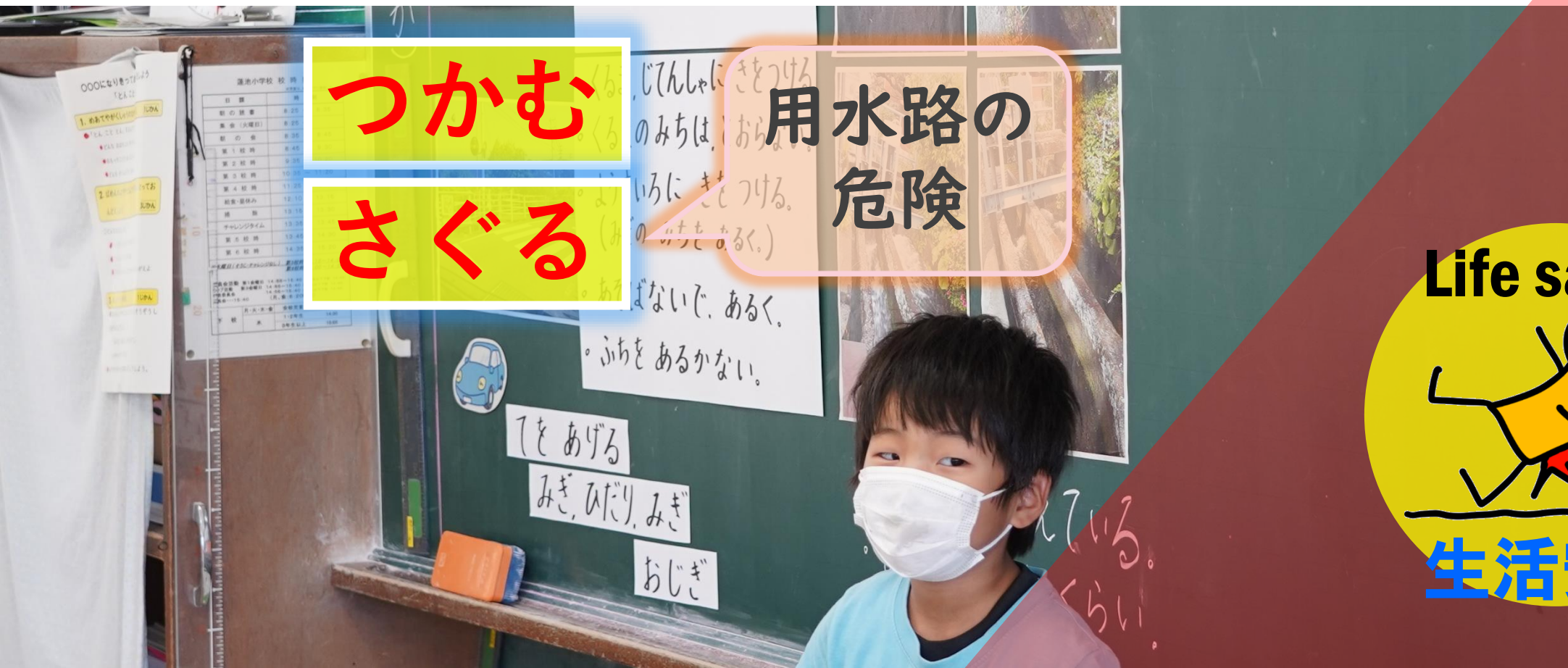
さぐる

用水路の危険

Life safety



生活安全



【1年生】の視点①

危険に気付き,安全な行動について考える

つかむ

さぐる

見つける

近づいてはいけない

のぞいてはいけない

Life safety



生活安全

【1年生】の視点①

危険に気付き,安全な行動について考える

つかむ

さぐる

見つける

決める



私は,とうめいを前にします

Life safety



生活安全

【1年生】の視点②

あるきかた あんけえと

振り返りの場面の設定と工夫

☆どんなところに きをつけて どうろを あるいていますか。

決める

振り返る

家庭でも話す



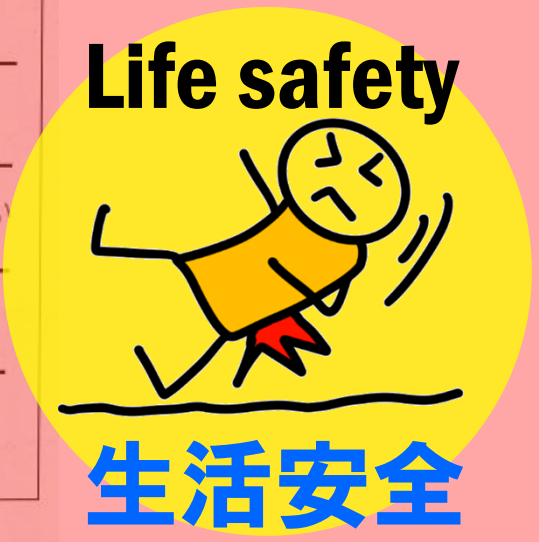
かくどうて
おもかえかきたら
みぎひたりにみて
とびださないように



ここはみんなかを
とおっています。とまた
とがこうへいって、いって

めあて

あめがふっている
ときは、くるまをいって
おいるときは
じゃんぷをしたら
けかをするので
ゆっくりおいる。



【1年生】の課題

学習内容と日常場面が離れすぎた児童

つかむ

さぐる

見つける

決める

振り返る

自分ごとの
弱さ

Life safety



生活安全

【1年生】の課題

安全に過ごすための知識を実践につなぐ

つかむ

さぐる

見つける

決める

振り返る



朝の会や帰りの会、
学級活動でくり返し

Life safety



生活安全

【4年生】

みんなを守ろう Vision Zero!



Traffic safety



交通安全

【4年生】の視点①

交通安全行動を知り,他者に伝えていく

つかむ

さぐる



【4年生】の視点①

交通安全行動を知り,他者に伝えていく

見るポイント

- 道はば
- うす暗さ
- 車の量(交通量)
- しかく

つかむ

さぐる

見つける

歩いて気づいたことや分かったことを書きましょう。



●横断歩道がない
車が通る(少ない)

●カーブ(見通しが悪)
がいとうがない

車計 8
人計 2

車の量と横断歩道の有無

交通量と街灯数

Traffic safety



交通安全

【4年生】の視点②

他者との関りを通して、考えを広げ深める

つかむ

さぐる

見つける

決める



Traffic safety



交通安全

【4年生】の視点②

他者との関りを通して、考えを広げ深める

つかむ

見学時のマップ

KJ法

ICT活用

さぐる

見つける

決める

Traffic safety



交通安全

【4年生】の視点②

他者との関りを通して、考えを広げ深める

決める

広げる

登下校中や休日

自主学习

Traffic safety



交通安全

【4年生】の課題

学習が知識として留まり、発信が弱い

つかむ

さぐる

見つける

決める

広げる



調査と発信が
一体の学習へ

Traffic safety



交通安全

【5年生】

南海トラフ地震や気象災害について
正しく知ろう，備えよう！



Disaster safety



災害安全

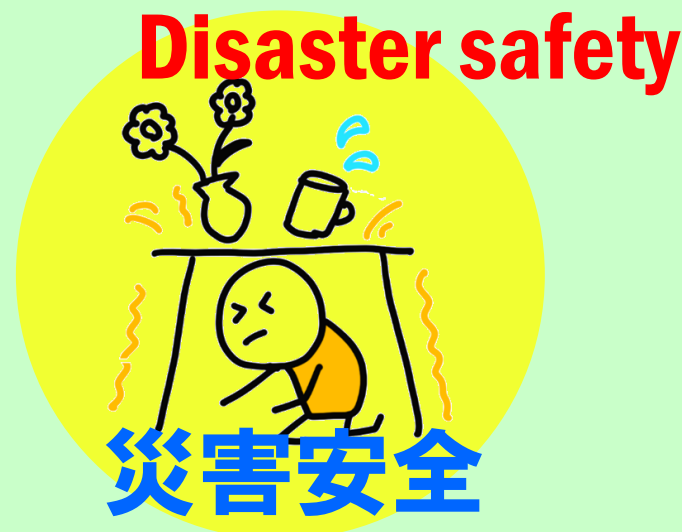
【5年生】

南海トラフ地震について課題を持ち 身近な環境について調べる

- ①南海トラフ地震の基礎知識を理解する
- ②状況に応じた避難行動を知り,行う
- ③家庭の防災対策を行う



- ④正しい防災情報の
入手方法を知る



【5年生】

大雨・台風，土砂災害，突風・雷による災害について調べる



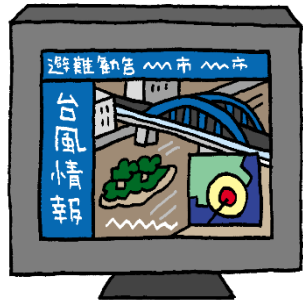
Disaster safety



【5年生】

大雨・台風，土砂災害，突風・雷による災害について調べる

- ① 台風や土砂災害，雷等の基礎知識について理解
- ② 気象災害への対策を考える
- ③ 避難経路，連絡方法を家族で確認する



- ④ より安全に避難できる方法を身に付ける



【5年生】

南海トラフ地震や気象災害について

学びに向かう力・人間性等

Disaster safety



災害安全

知識・技能

思考力・判断力
表現力

【5年生】の視点①

課題に対して自分の考えや思いを持つ

つかむ

自分の命を守るために家中の家具の配置について
Aさんの部屋 Bさんの部屋
僕の家は、家具固定の
対策が不十分だ...

Disaster safety



災害安全

【5年生】の視点①

課題に対して自分の考えや思いを持つ

つかむ

さぐる



Disaster safety



災害安全

【5年生】の視点①

課題に対して自分の考えや思いを持つ

つかむ

さぐる

見つける



Disaster safety



【5年生】の視点①

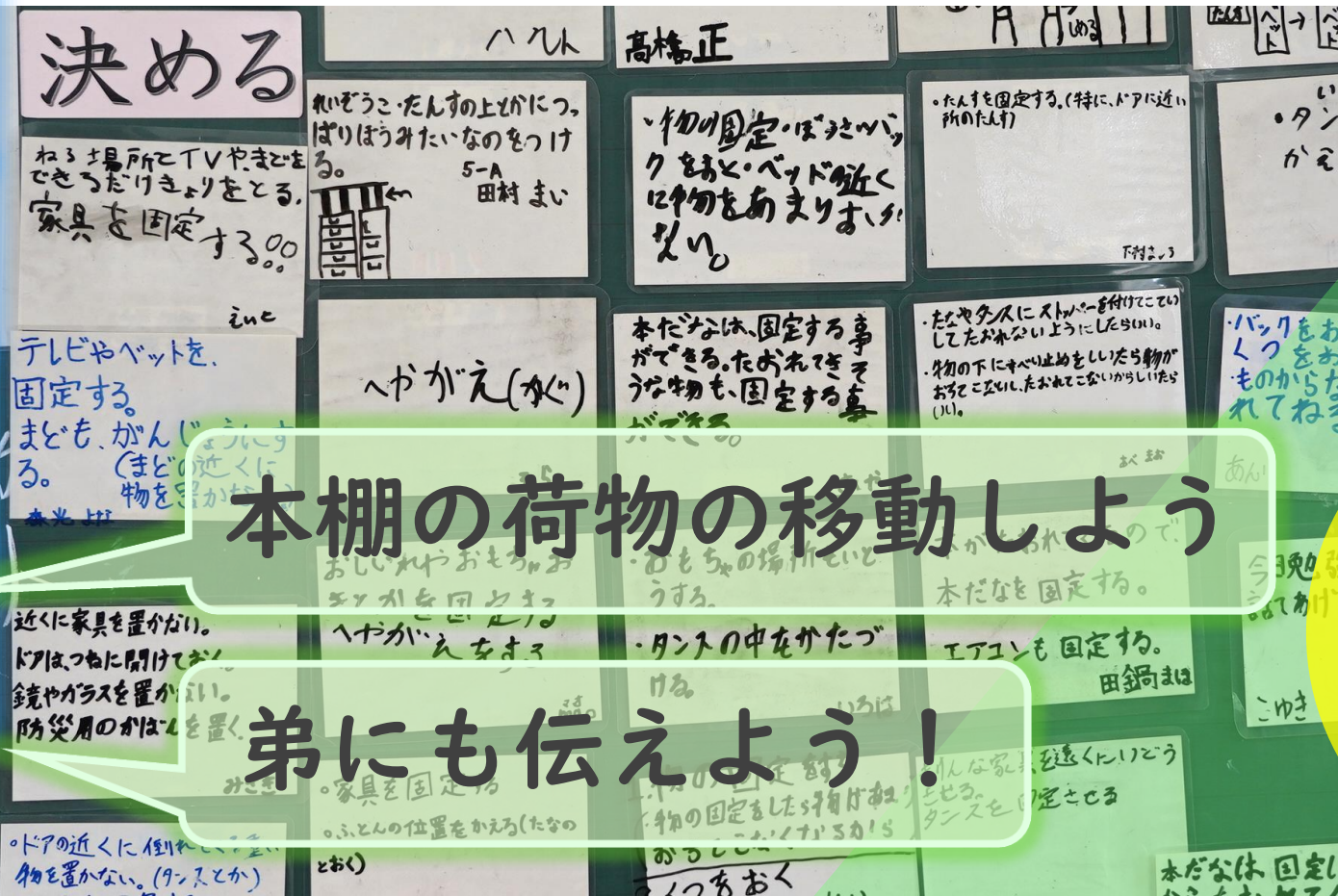
課題に対して自分の考えや思いを持つ

つかむ

さぐる

見つける

決める



Disaster safety



【5年生】の視点②

振り返りの場面の設定と工夫

つかむ

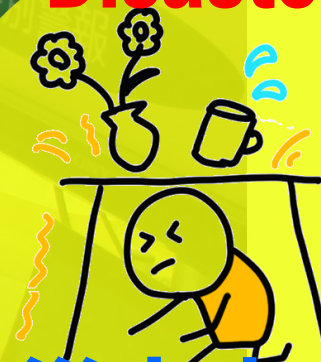
さぐる

見つける

決める



Disaster safety



災害安全

【5年生】の視点②

振り返りの場面の設定と工夫

決める

③ 今日学習した内容で、家族に伝えることを決めよう。

南では、へいがあり、入口にさかつかいだんがあり、しんすいのたいせくをしていたけど、自分の家の周りはどうなのか、しに考えたいです。

振り返る

③ 今日学習した内容で、家族に伝えることを決めよう。

自分の家かなんて少しけんがんの前がかいたんしきになっているのかを伝えたいです。

Disaster safety



災害安全

【5年生】の視点②

振り返りの場面の設定と工夫

決める

③ 今日学習した内容で、家族に伝えることを決めよう。

川と道路の高さが違う意味

南では、川が道路より高かったり、道路が川より高かったり、しずいのたいせきを
していたけど、自分の家の周りはどうなのか、しに考えたいです。

振り返る

水門の重要性

③ 今日学習した内容で、家族に伝えることを決めよう。

増水時の田の貯水機能

自分の家かなんて少
のかを伝えたいです。

Disaster safety



災害安全

【5年生】の課題

知識を自分事として捉えられる工夫

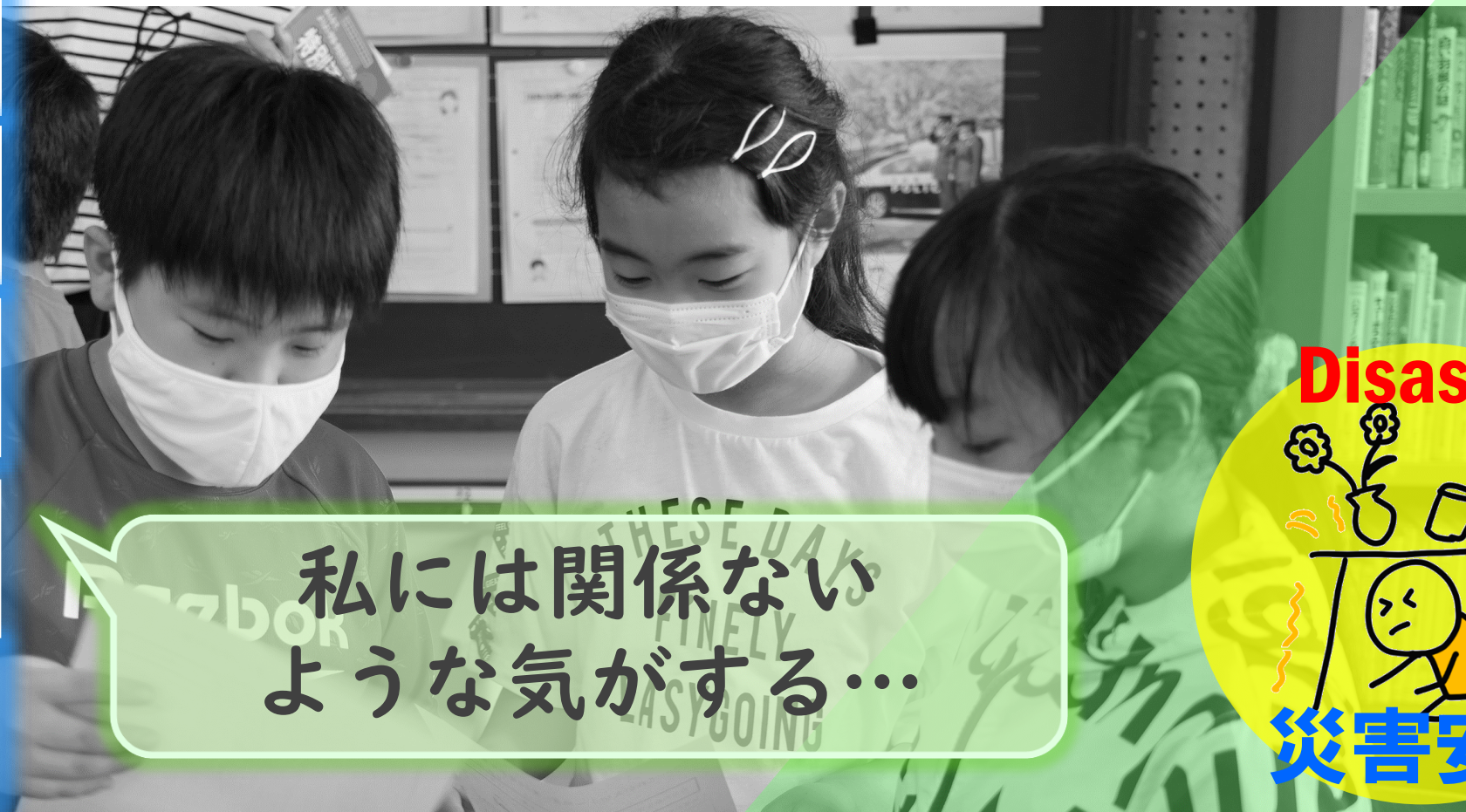
つかむ

さぐる

見つける

決める

振り返る



私には関係ない
ような気がする...

Disaster safety



災害安全

【5年生】の課題

学習内容を総合する振り返りの適時性

つかむ

さぐる

見つける

決める

振り返る



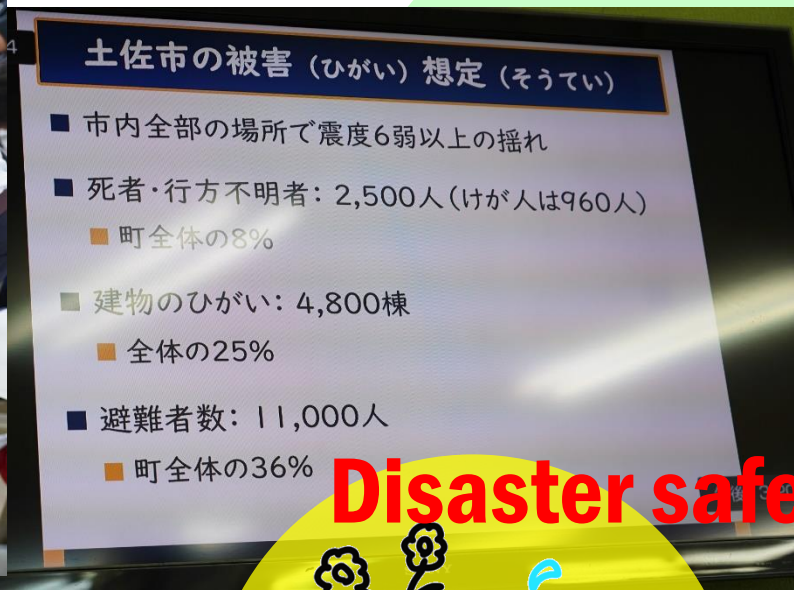
Disaster safety



災害安全

【6年生】

「防災小説」を書こう！



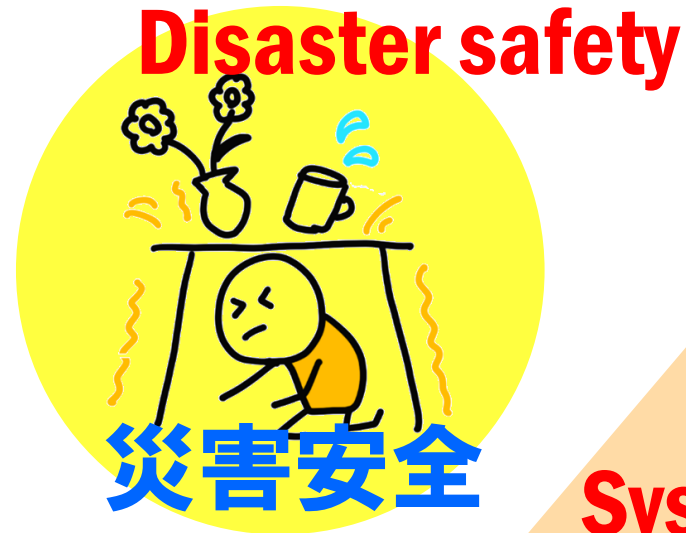
20XX年12月16日午後4時42分

南海トラフ地震が発生！ その時、わたしは・・・



南海トラフ地震に備える

- 授業
- 学校行事
(避難訓練や
防災1DAYキャンプ)
- 家族防災会議

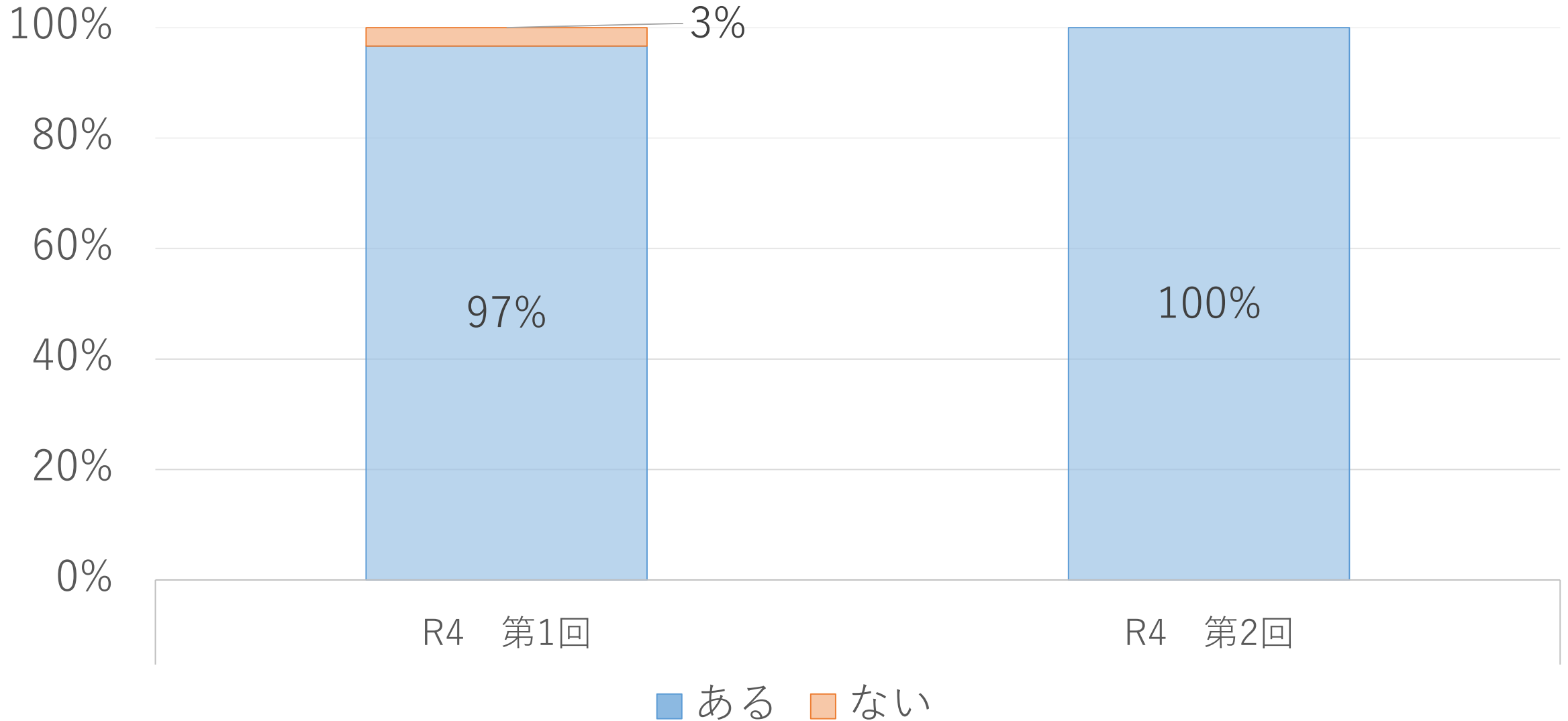


System of school safety

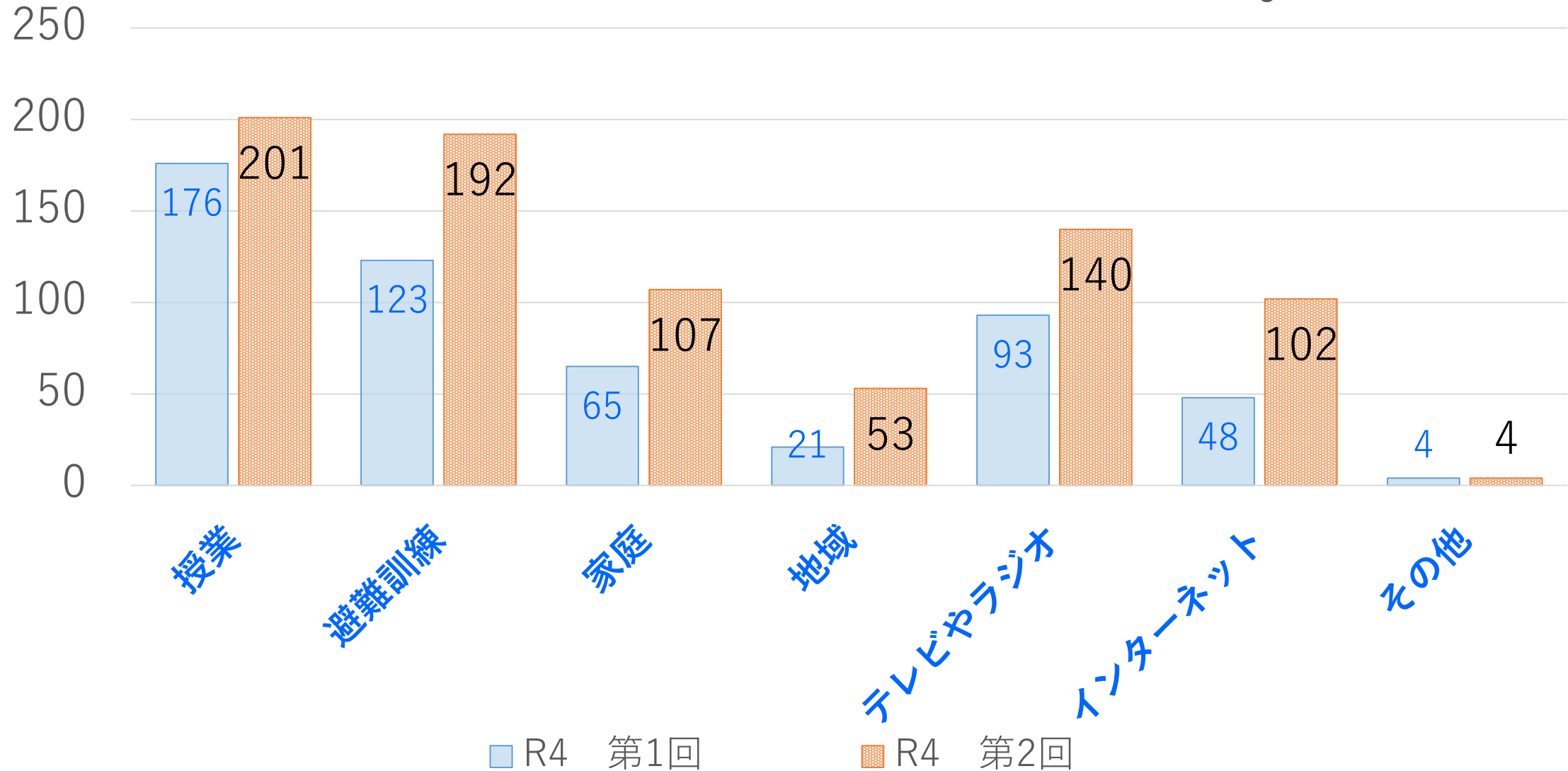


学校安全の**体系**

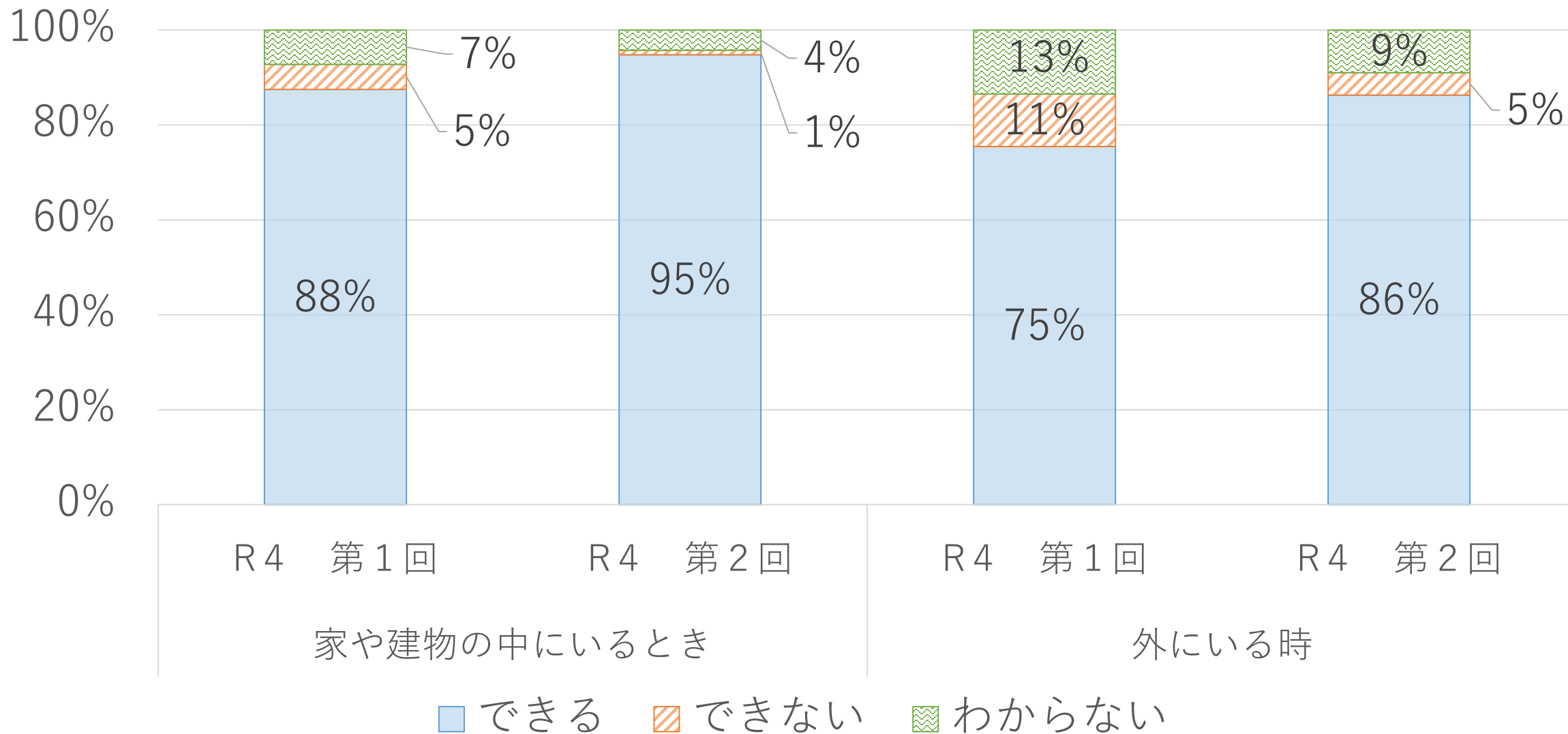
1 - ①のA 南海トラフ地震について、話を聞いたたりみたりしたことがありますか。



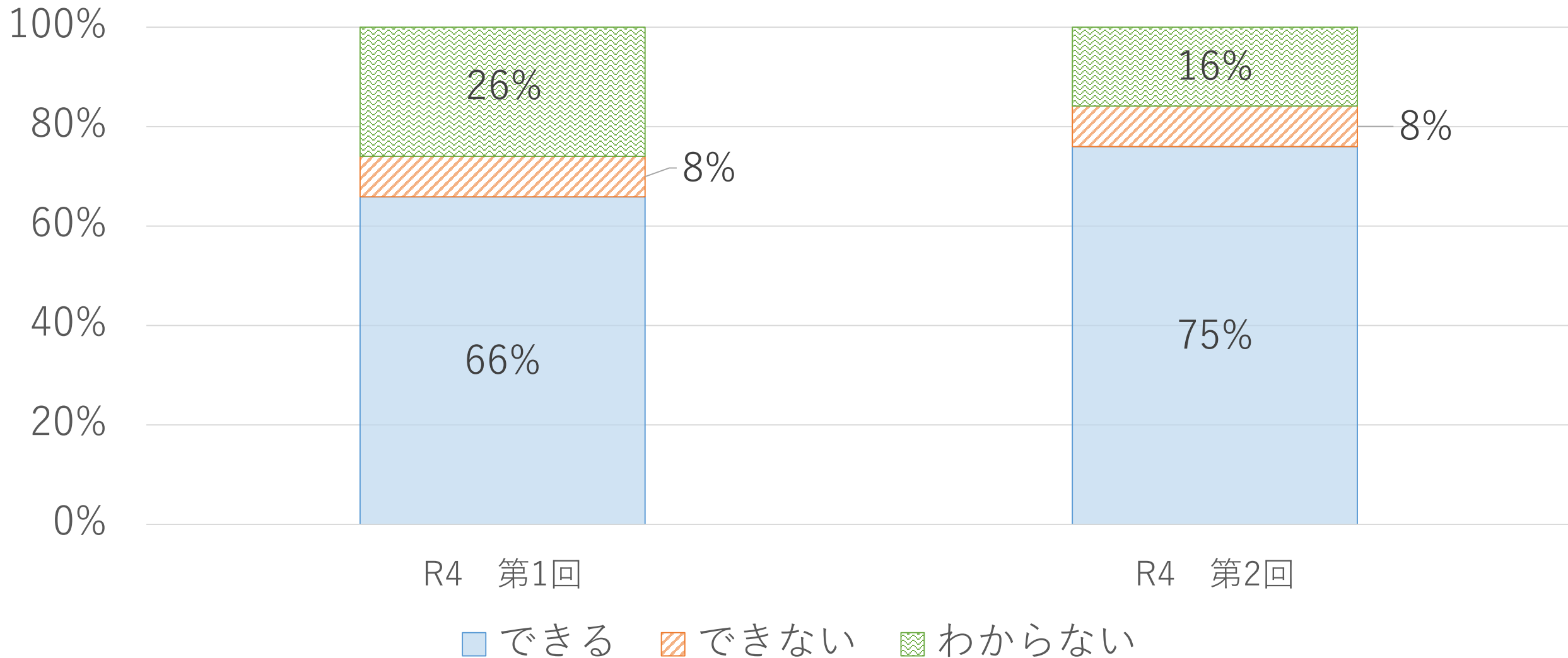
1 - ①のB 南海トラフ地震について、 どうやって知りましたか。



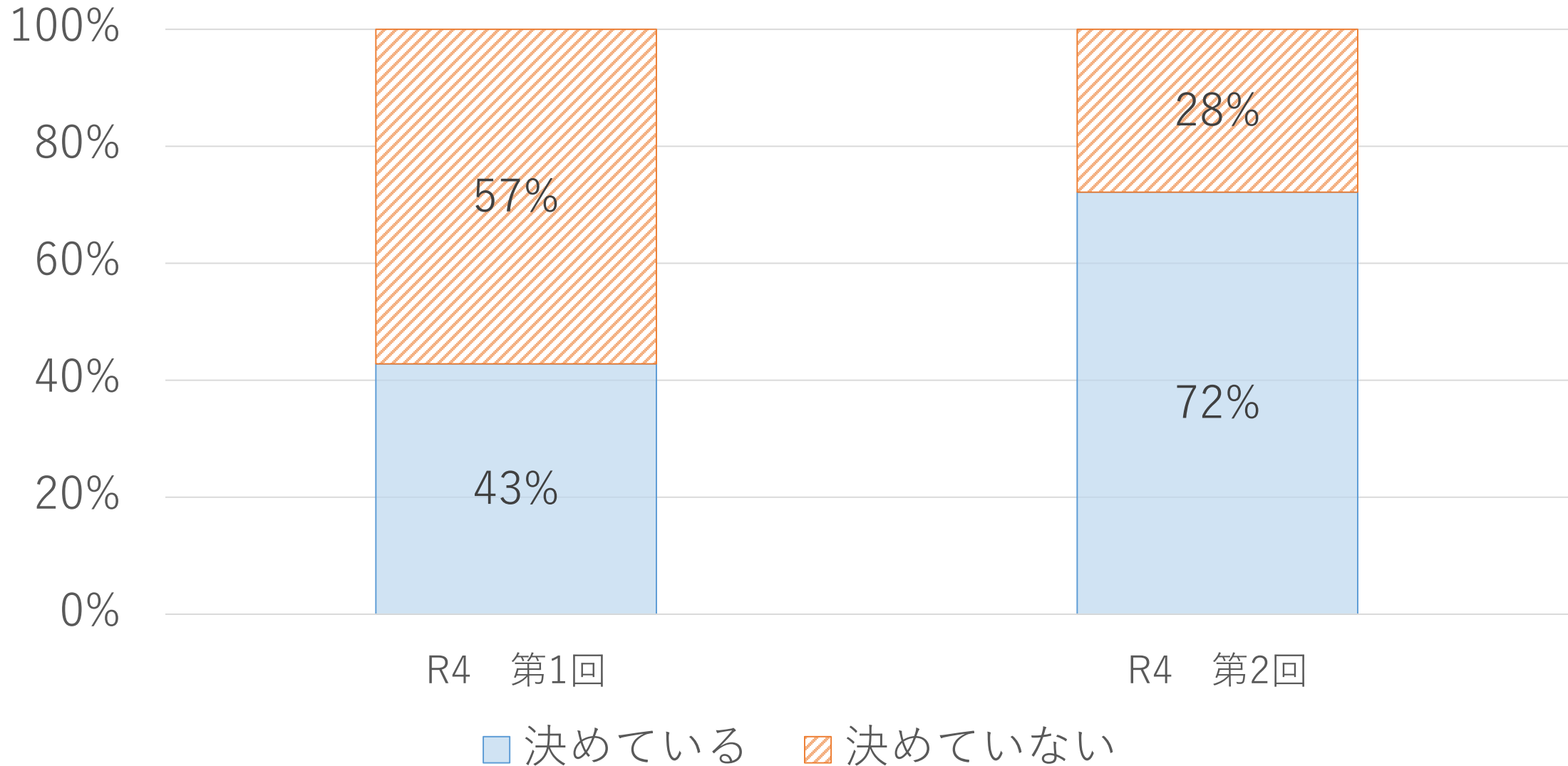
1-③ 地震が起きたときに、自分で判断して揺れから身の安全を守ることができる。



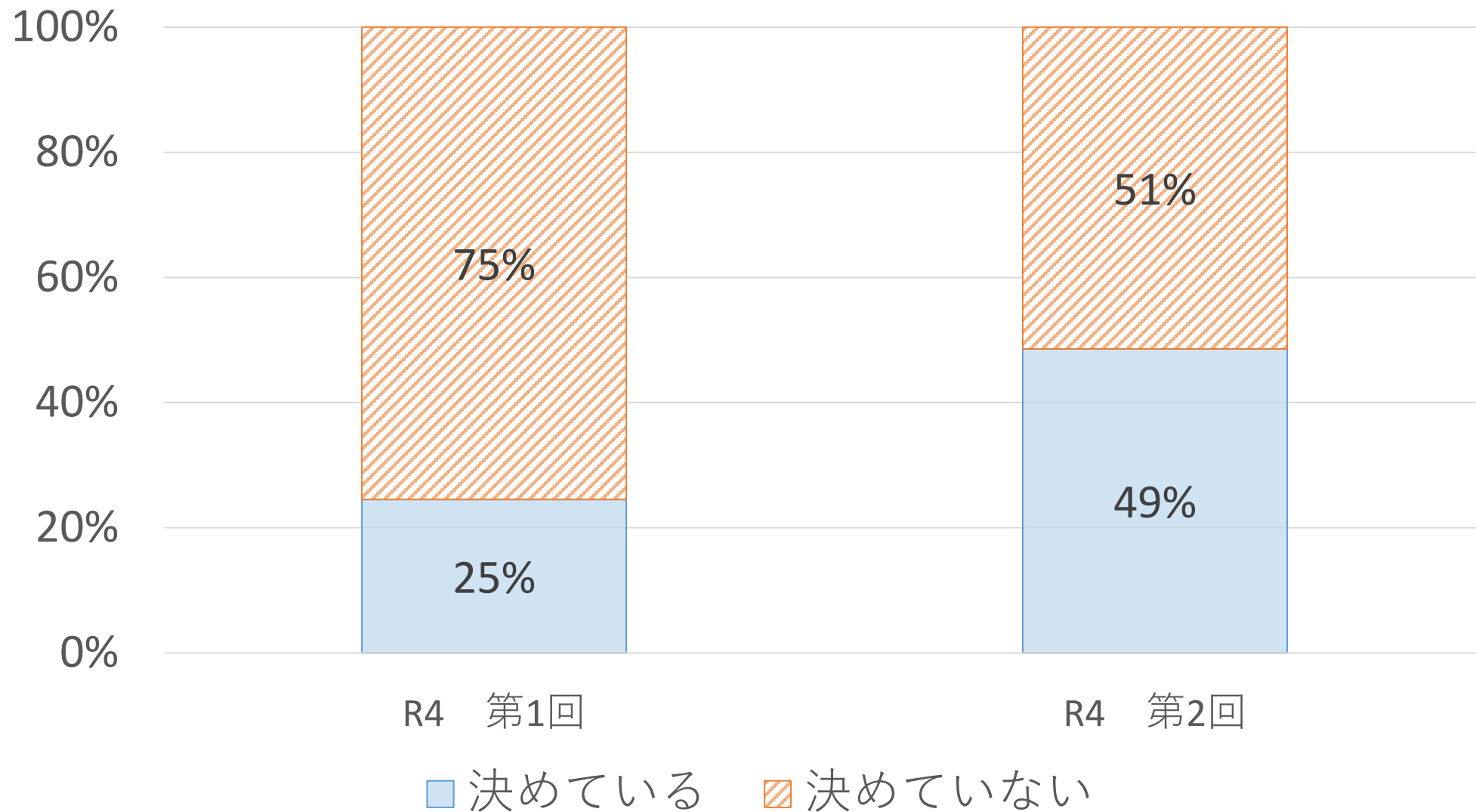
1 - ⑤ 1人での登下校時、地震が起きたときに、 避難する安全な場所を知っているか。



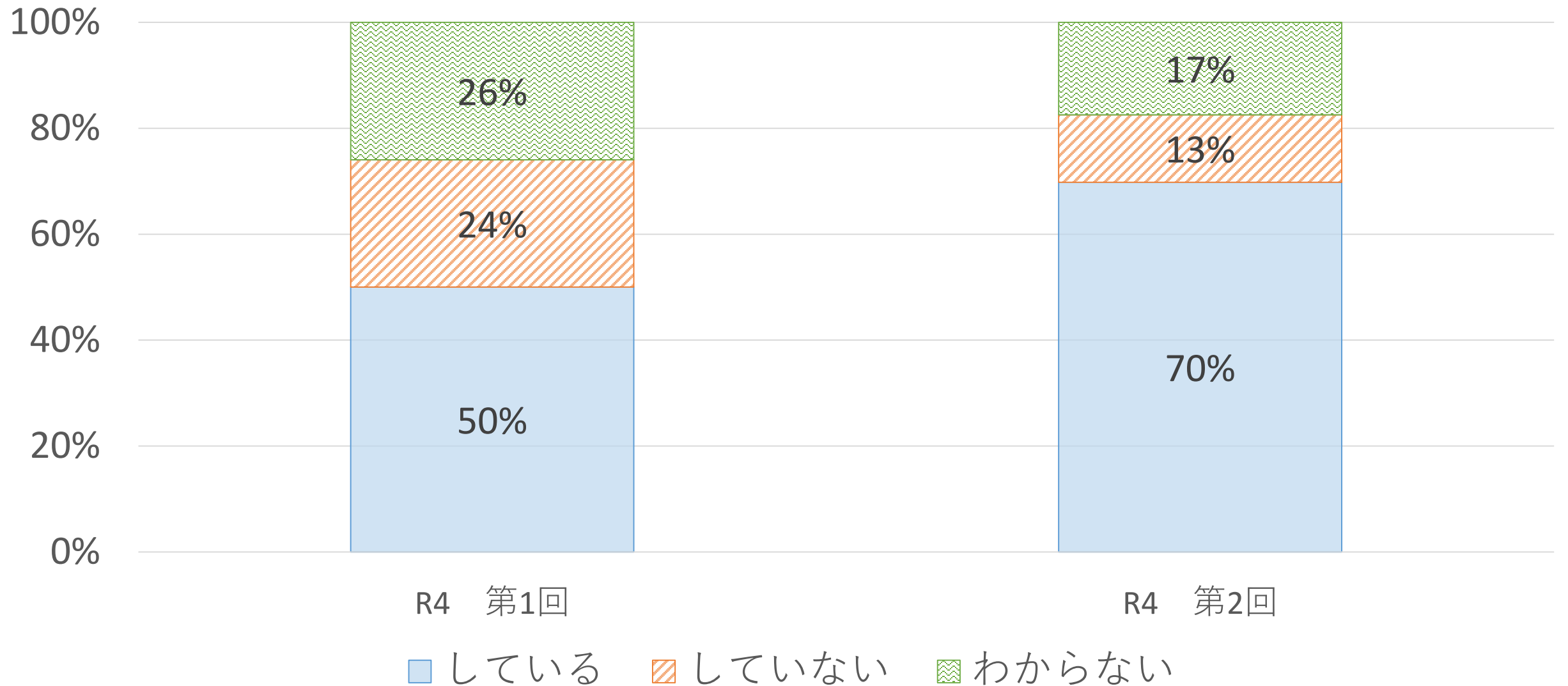
1 - ⑥ 地震などで避難した後に、家族と集合する場所を決めていますか。



1-⑦ 地震などで避難した後に、家族との連絡の取り方を決めていますか。



1-⑧ あなた（あなたの家）は、地震に備えて準備をしていますか。



組織活動

第1回学校安全総合支援事業実践委員会

土佐市警察署

土佐市消防本部

土佐市防災対策課

土佐市教育委員会

高知県教育委員会

自主防災組織 地域学校協働本部

地域青少年育成土佐市民会議

民生児童委員 蓮池小学校PTA

【協力校】

高岡第一小学校 高石小学校



System of school safety



学校安全の体系

安全管理

- ・ 様々な状況下を想定した避難訓練

① 通常の避難訓練

② 通常の避難訓練 +
点呼時に児童不在

(学級担任に予告なし)

③ 通常の避難訓練 +
余震発生で再行動

System of
school safety



学校安全の体系

安全管理

- ・危機管理マニュアルの改訂
- ・様々な状況下を想定した避難訓練
- ・毎月の校内安全点検
- ・三木の日（パトロール隊）



System of
school safety



学校安全の体系

安全教育の日常化への取組

学校安全計画の見直し

- 安全教育実現の手法の開発
- 指導の工夫改善

Life safety



生活安全

Traffic safety



交通安全

Disaster safety



災害安全

System of school safety

安全教育

組織活動

安全管理



安全教育の日常化への課題

何を身に付け、何ができる自分になったか

Life safety



生活安全

Traffic safety



交通安全

Disaster safety



災害安全

System of school safety

安全教育

組織活動

安全管理



指導事項確認票

自らの命を守るために必要な資質・能力の発達段階ごとの体系表

いかなる状況でも、自分の命を守ることが大前提です。その上で、発達段階に応じて身に付けることを記載しています。

災害安全（震災） 南海トラフ地震から「自分の命を守る」

～南海トラフ地震発生時の危険を理解し、日頃から備え、安全に行動することができる～

判定の基準

- …当該学年での「履修・未履修」を問わず、日常生活場面やアンケート結果等で「ある程度獲得」していると見取った場合。
（「見取る」＝「履修の具体的な場面が思い浮かぶ」又は、「想定とするノート・アンケート結果等のデータが存在」している。）
- △…当該学年で「履修済み」だが、「修得の判断材料に欠ける」と感じする場合。
- ×…当該学年で「未履修」であり、且つ「修得判断の材料に欠ける」と感じた場合。

資質・能力	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	内容	判定	内容	判定	内容	判定	内容	判定	内容	判定	内容	判定
①地域に起こる災害を知る	自分の住む地域で発生する災害を知っている。	△	自分の住む地域で発生する災害を知っている。	○	南海トラフ地震が発生する災害の種類や自分の住む地域の被害を知っている。	△	南海トラフ地震が発生する災害の種類や自分の住む地域の被害を知っている。	△	南海トラフ地震の基礎知識を理解することができる。	○	南海トラフ地震の基礎知識を理解することができる。	○
	南海トラフ地震が発生した場合は、津波浸水想定区域では、地震の後は、津波がくることを理解している。	○	南海トラフ地震が発生した場合は、津波浸水想定区域では、地震の後は、津波がくることを理解している。	○	南海トラフ地震の特性について理解している。 （強い揺れ、長い揺れ発生する）	○	南海トラフ地震の特性について理解している。 （強い揺れ、長い揺れ発生する）	○	南海トラフ地震の特性について理解している。 （強い揺れ、長い揺れ発生する）	○	過去の南海地震と被害について理解している。	△
②必ず助かるための知恵と備え	地震の揺れから身を守る方法を知っている。（ガスや落下物から頭を守る）	○	地震の揺れから身を守る方法を知っている。（ガスや落下物から頭を守る）	○	津波から避難する時には、避難場所まで、周囲の安全を確認しながら急いで避難することが大切であることを理解している。	△	津波から避難する時には、避難場所まで、周囲の安全を確認しながら急いで避難することが大切であることを理解している。	△	夜間の地震発生に備えることができる。	△	夜間の地震発生に備えることができる。	△
	屋外で揺れを感じた時は、壁や建物から離れ自分の身を守ることを理解している。	○	屋外で揺れを感じた時は、壁や建物から離れ自分の身を守ることを理解している。	○	校区の危険な場所と津波避難場所を知り、災害時に備えることができる。	×	校区の危険な場所と津波避難場所を知り、災害時に備えることができる。	×	家庭での備えの大切さ（家具等の転倒・落下防止、備蓄品等）を理解し、自分の非災害持ち出し品を準備している。	△	家庭での備えの大切さ（家具等の転倒・落下防止、備蓄品等）を理解し、自分の非災害持ち出し品を準備している。	○
③みんなで助かるための備え	津波から避難する時に、今いるところから、一番近くの津波避難場所に向いて避難することを理解している。	×	津波から避難する時に、今いるところから、一番近くの津波避難場所に向いて避難することを理解している。	△	人が集まる場所では非出口を必ず確認しておく。	×	人が集まる場所では非出口を必ず確認しておく。	×	けがの発生を予防を行うことができる。	△	けがの発生を予防を行うことができる。	△
	日頃から、基本的な生活習慣を身に付け、自分の身の回りのことは自分でできる。	△	日頃から、基本的な生活習慣を身に付け、自分の身の回りのことは自分でできる。	△	自分や家族の避難場所や集合場所を事前に確認している。	○	自分や家族の避難場所や集合場所を事前に確認している。	○	揺れにより、電気やガス、水道等のライフラインが途絶え、通常の生活ができなくなることを理解しておく。	△	揺れにより、電気やガス、水道等のライフラインが途絶え、通常の生活ができなくなることを理解しておく。	○
④揺れから自分を守る	揺れを感じたら（緊急地震速報が来たら）、落ちたてない、倒れたてない、移動してない場所で頭を守ることができる。	○	揺れを感じたら（緊急地震速報が来たら）、落ちたてない、倒れたてない、移動してない場所で頭を守ることができる。	○	電車やバス、人が大勢いる施設等では、落ち書いて、その場所に適切な避難行動をとることができる。	△	電車やバス、人が大勢いる施設等では、落ち書いて、その場所に適切な避難行動をとることができる。	×	自宅にいてもときや外出時等、落ち書いて、その状況に応じた避難行動をとることができる。	△	自宅にいてもときや外出時等、落ち書いて、その状況に応じた避難行動をとることができる。	○
	強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、できるだけ早く、高いところ（津波避難場所）へ避難することができる。	△	強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、できるだけ早く、高いところ（津波避難場所）へ避難することができる。	△	強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、一人でいても、自分で判断してすぐに避難することができる。	△	強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、一人でいても、自分で判断してすぐに避難することができる。	△	緊急地震速報について、学校設置の機器、テレビ、ラジオ、携帯電話等の報知音の違いを知り、どの音でも避難行動をとることができる。	△	緊急地震速報について、学校設置の機器、テレビ、ラジオ、携帯電話等の報知音の違いを知り、どの音でも避難行動をとることができる。	△
⑤津波からの迅速な避難	強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、できるだけ早く、高いところ（津波避難場所）へ避難することができる。	△	強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、できるだけ早く、高いところ（津波避難場所）へ避難することができる。	△	沿岸地域（津波の到達が早いことが予想される地域）では、動けるくらいの揺れになったらできるだけ早く近くの高台へ避難することができる。	○	沿岸地域（津波の到達が早いことが予想される地域）では、動けるくらいの揺れになったらできるだけ早く近くの高台へ避難することができる。	○	大声で「逃げるぞ」と下駄など履きに呼びかけながら避難することができる。	△	大声で「逃げるぞ」と下駄など履きに呼びかけながら避難することができる。	△
	落下中に地震が発生しても、自分で避難することができる。	○	落下中に地震が発生しても、自分で避難することができる。	△	避難が想定される場所では、避難経路の安全を確認しながら、避難場所まで急いで避難することができる。	×	避難が想定される場所では、避難経路の安全を確認しながら、避難場所まで急いで避難することができる。	×	避難した場所の状況に応じて、より高い所への避難を判断することができる。	△	避難した場所の状況に応じて、より高い所への避難を判断することができる。	△
⑥いつ、どこにいても自分を守る	津波が想定される場所では、今いるところから、一番近くの津波避難場所に自分で避難することができる。	×	津波が想定される場所では、今いるところから、一番近くの津波避難場所に自分で避難することができる。	△	火災を発生したら、できるだけ大声で近所の人知らせ、周りにいる物のない広い公園等に避難することを知っている。	○	火災を発生したら、できるだけ大声で近所の人知らせ、周りにいる物のない広い公園等に避難することを知っている。	×	校区の津波避難場所を知っており、どこにいても安全に避難することができる。	○	校区の津波避難場所を知っており、どこにいても安全に避難することができる。	○
	揺れの後は、火災や煙状況、土砂災害の可能性を知っている。（揺れの後は、岸の上や下から離れるなど）	△	揺れの後は、火災や煙状況、土砂災害の可能性を知っている。（揺れの後は、岸の上や下から離れるなど）	△	火災を発生したら、できるだけ大声で近所の人知らせ、周りにいる物のない広い公園等に避難することを知っている。	○	火災を発生したら、できるだけ大声で近所の人知らせ、周りにいる物のない広い公園等に避難することを知っている。	×	避難した場所の状況に応じて、より高い所への避難を判断することができる。	△	避難した場所の状況に応じて、より高い所への避難を判断することができる。	△
⑦二次災害への対応	揺れの後は、火災や煙状況、土砂災害の可能性を知っている。（揺れの後は、岸の上や下から離れるなど）	△	揺れの後は、火災や煙状況、土砂災害の可能性を知っている。（揺れの後は、岸の上や下から離れるなど）	△	津波や火災の他にも地震、煙状況や土砂災害等が起こることも想定して行動することができる。	△	津波や火災の他にも地震、煙状況や土砂災害等が起こることも想定して行動することができる。	×	山崩れや、川の水が異なるなどの土砂災害の兆しとなる現象を理解し、避難することができる。	△	山崩れや、川の水が異なるなどの土砂災害の兆しとなる現象を理解し、避難することができる。	△
	落下中に地震が発生しても、自分で避難することができる。	○	落下中に地震が発生しても、自分で避難することができる。	△	自分の住む地域の人と日頃から積極的に挨拶するなど、日頃から顔見知りになる。	△	自分の住む地域の人と日頃から積極的に挨拶するなど、日頃から顔見知りになる。	×	正しい防災情報を入手し、早く避難することができる。	△	正しい防災情報を入手し、早く避難することができる。	△
⑧助ける人になるための行動	日頃から、地域の中で自分から挨拶をする。	△	日頃から、地域の中で自分から挨拶をする。	○	自分の住む地域の人と日頃から積極的に挨拶するなど、日頃から顔見知りになる。	△	自分の住む地域の人と日頃から積極的に挨拶するなど、日頃から顔見知りになる。	×	避難行動要支援者や要配慮者など、災害時に自ら避難することが困難な人がいることを理解し、地域の状況を知っておく。	△	避難行動要支援者や要配慮者など、災害時に自ら避難することが困難な人がいることを理解し、地域の状況を知っておく。	△
	津波が想定される場所では、今いるところから、一番近くの津波避難場所に自分で避難することができる。	×	津波が想定される場所では、今いるところから、一番近くの津波避難場所に自分で避難することができる。	△	火災等を発生したら、自分の安全を守り、周囲の人に知らせるなど、自分ができることを行う。	○	火災等を発生したら、自分の安全を守り、周囲の人に知らせるなど、自分ができることを行う。	×	災害発生時に、支援が必要な人が近くにいるら、自分の安全を守りながら、自分ができる唯一の行動ができるよう、自分にはどんな支援ができるか日頃から考えておく。	△	災害発生時に、支援が必要な人が近くにいるら、自分の安全を守りながら、自分ができる唯一の行動ができるよう、自分にはどんな支援ができるか日頃から考えておく。	△
⑨みんなで生き延びるための知恵と技	日頃から、我慢したり、みんなで協力したりして、自分にできることを行う。	△	日頃から、我慢したり、みんなで協力したりして、自分にできることを行う。	△	災害後の生活の様子を知り、集団生活のルールやマナーを守り、我慢する。みんなが助け合う、協力することや、自分にできることを積極的に行う。	△	災害後の生活の様子を知り、集団生活のルールやマナーを守り、我慢する。みんなが助け合う、協力することや、自分にできることを積極的に行う。	×	災害後の状況を知り、日頃から、自分にできる役割を考えて行動する。	×	災害後の状況を知り、日頃から、自分にできる役割を考えて行動する。	○
	自分のことは自分でできるようにする。	○	自分のことは自分でできるようにする。	○	自分の住む地域の人と日頃から積極的に挨拶するなど、日頃から顔見知りになる。	△	自分の住む地域の人と日頃から積極的に挨拶するなど、日頃から顔見知りになる。	×	「災害用伝言ダイヤル117」の活用など、予め決めていた方法で家族へ連絡することができる。	×	「災害用伝言ダイヤル117」の活用など、予め決めていた方法で家族へ連絡することができる。	△
⑩地域社会の一員としての心構え	日頃から、我慢したり、みんなで協力したりして、自分にできることを行う。	△	日頃から、我慢したり、みんなで協力したりして、自分にできることを行う。	△	地域の防災に関わっている人の働きを知り、自分のできることを考え行動することができる。	△	地域の防災に関わっている人の働きを知り、自分のできることを考え行動することができる。	×	周囲の状況や地域の人々の活動を知り、地域の一員として、自分にできる役割を考えて行うことができる。	×	周囲の状況や地域の人々の活動を知り、地域の一員として、自分にできる役割を考えて行うことができる。	×
	自分のことは自分でできるようにする。	○	自分のことは自分でできるようにする。	○	災害後の生活の様子を知り、集団生活のルールやマナーを守り、我慢する。みんなが助け合う、協力することや、自分にできることを積極的に行う。	△	災害後の生活の様子を知り、集団生活のルールやマナーを守り、我慢する。みんなが助け合う、協力することや、自分にできることを積極的に行う。	×	学校や地域の避難訓練に家族と一緒に参加し、地域の防災について考え行動することができる。	△	学校や地域の避難訓練に家族と一緒に参加し、地域の防災について考え行動することができる。	△

安全教育の日常化への課題

何を身に付け、何ができる自分になったか

- ・ 安全な行動を選択することができ、児童の育成
- ・ 実現可能な安全教育モデルの構築

Life safety



生活安全

Traffic safety



交通安全

Disaster safety



災害安全

System of school safety

安全教育

組織活動

安全管理

安全教育の日常化

何を身に付け、何ができる自分になったか

凡事徹底，凡事一流をめざして

児童にとって，安全文化が日常のごく当たり前のものに

Life safety



生活安全

Traffic safety



交通安全

Disaster safety



災害安全

System of school safety

安全教育

組織活動

安全管理

安全教育の日常化

何を身に付け、何ができる自分になったか

凡事徹底，凡事一流をめざして

児童にとって，安全文化が日常のごく当たり前のものに

蓮池小学校 交通安全マスター



令和4年度
蓮池小学校の取組 スライドショー

